

RCD 曲線、ROC 曲線

1. 目的

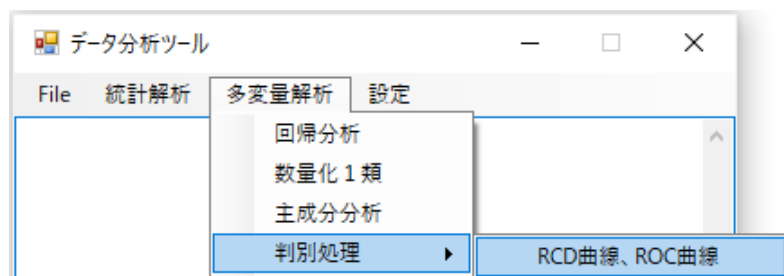
2 つにグループ分け（陽性、陰性）したデータから、RCD 曲線、ROC 曲線を描画します。

また 2 つのグループ分けに最適なしきい値を算出し、AUC も併せて表示する。

2. 使用法

(1) メニューの選択

メニューの「多変量解析→判別処理→RCD 曲線、ROC 曲線」を選択します。



(2) パネルが表示されます。

計算結果

RCD曲線

ROC曲線

しきい値 以上 を 陽性 として計算

しきい値 未満 を 陽性 として計算

先頭行をラベルとして使用

データ分布1

データ分布2

直接入力可能

第1群(陽性対象)

第2群(陰性対象)

しきい値を指定して試算

しきい値:

試算

	未満	以上	合計
第1群: 陽性			1.0
		(感度)	
第2群: 陰性			1.0
		(特異度)	

(3) データの入力

データはパネルの下側の2つのグリッドに入力します。

左側のグリッドに陽性対象、右側に陰性対象のデータを入力します。

第1群(陽性対象)

表データを貼り付け クリア

No	ID	Value
*		

第2群(陰性対象)

表データを貼り付け クリア

No	ID	Value
*		

データの入力方法は以下の2つあります。

- ① 表計算ソフトのデータをコピーして貼り付ける方法
- ② 直接数値を入力する方法

「表計算ソフトのデータをコピーして貼り付ける」場合は以下のようにします。

- ・表計算シート上のコピー対象を選択し、コピーします。(ドラッグ)
- ・パネルの各グリッドの上にある **表データを貼り付け** をクリックします。

No	動脈硬化者	コレステロール
1	動硬化症-1	223
2	動硬化症-2	227
3	動硬化症-3	231
4	動硬化症-4	233
5	動硬化症-5	237
6	動硬化症-6	239
7	動硬化症-7	240
8	動硬化症-8	243
9	動硬化症-9	249
10	動硬化症-10	251

No	正常者	コレステロール
1	正常-1	201
2	正常-2	203
3	正常-3	208
4	正常-4	211
5	正常-5	213
6	正常-6	215
7	正常-7	223
8	正常-8	228
9	正常-9	229
10	正常-10	230

☒ 先頭行をラベルとして使用

データ分布1
 データ

第1群(陽性対象)

表データを貼り付け クリア

No	動脈硬化症
1	動硬化症-1
2	動硬化症-2
3	動硬化症-3
4	動硬化症-4
5	動硬化症-5
6	動硬化症-6

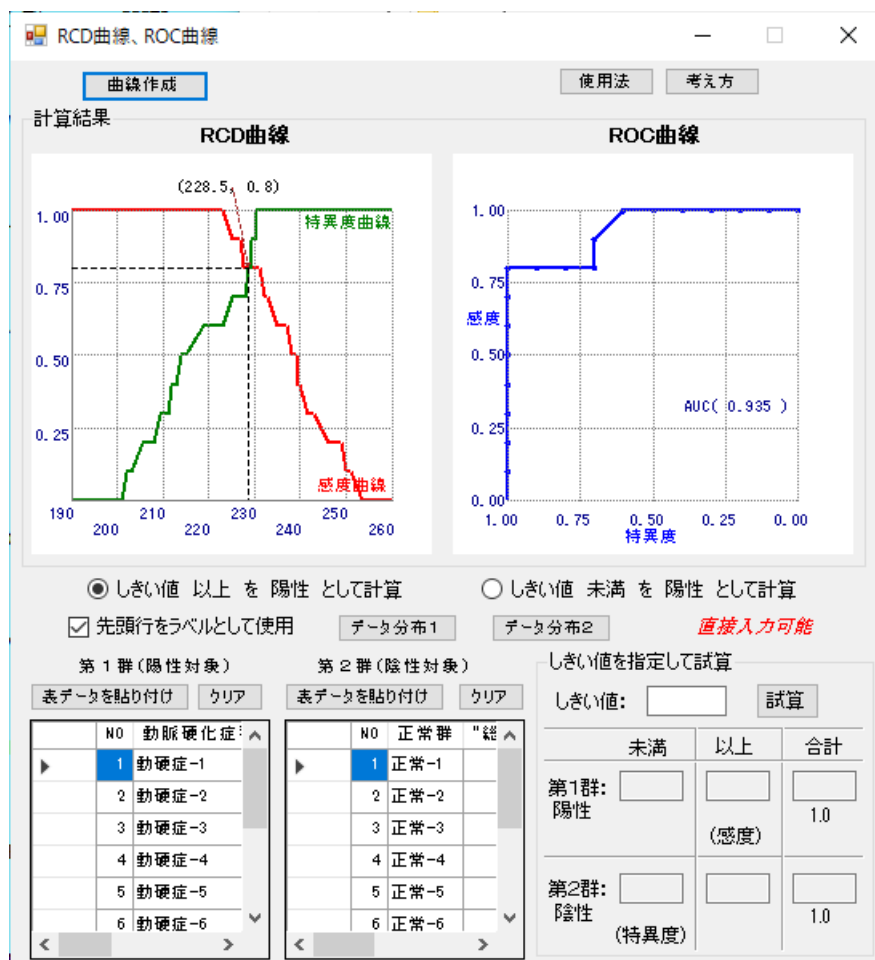
第2群(陰性対象)

表データを貼り付け クリア

No	正常群
1	正常-1
2	正常-2
3	正常-3
4	正常-4
5	正常-5
6	正常-6

(4) 曲線の描画 と 評価

次に **曲線作成** をクリックします。
RCD曲線、ROC曲線が描画されます。



RCD曲線の感度曲線と特異度曲線との交点が、妥当なしきい値と評価されます。

また、ROC曲線から AUC が 0.935 と表示されていますが、AUCは判定として役立つかを示す指標であり、この場合は、0.935 と 1.0 に近いので “判定に役立っている” と解釈できます。

☒ しきい値 以上 を 陽性 として計算 ☐ しきい値 未満 を 陽性 として計算

陽性対象とするデータが 小さい値をとるのか、大きい値をとるのかを指定するものです。

サンプルのデータは コレステロール値が高いと陽性の傾向にありますので、「しきい値以上を陽性として計算」を選択します。

逆に 低血圧を陽性として評価する場合、血圧値は低い方が陽性ですので、「しきい値未満を陽性として計算」を選択します。

パネルの右下にある部分

しきい値を指定して試算		
しきい値: <input type="text"/>		<input type="button" value="試算"/>
	未満	以上
第1群: 陽性	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		(感度)
第2群: 陰性	<input type="text"/>	<input type="text"/>
		(特異度)
		合計
		<input type="text"/>
		1.0
		<input type="text"/>
		1.0

これは、しきい値を入力して、感度と特異度を試算するものです。